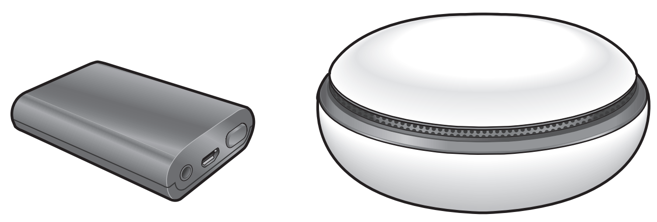
Panasonic®

取扱説明書

ポータブルワイヤレススピーカーシステム

品番 SC-MC20

Bluetooth®



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(裏面に記載)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本機は、ワイヤレススピーカー(SC-MC20)とワイヤレス送信機(RFE0270)から構成されています。
- 本書の本体イラストは、SC-MC20-W のものです。

保証書付き

パナソニック株式会社　ホームエンターテインメント事業部
〒571－8504　大阪府門真市松生町１番１５号

© Panasonic Corporation 2013

VQT5G97-1
F1213DT1034

Panasonic　持込修理

ポータブルワイヤレススピーカーシステム保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SC-MC20
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※ お買い上げ日	年　月　日
※ お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　）　―
※ 販売店	住所・販売店名 電話（　）　―

見本

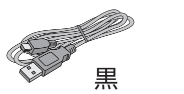
パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

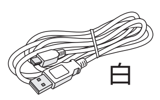
付属品

付属品をご確認ください。
記載の品番は2013年12月現在のものです。変更されることがあります。

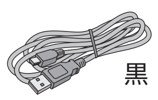
- □ DC ケーブル(1 m):1 本【ワイヤレス送信機用】(品番 RFE0274)


黒

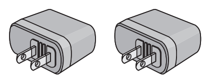
- □ DC ケーブル(2 m):1 本【ワイヤレススピーカー用】
  - SC-MC20-W (品番 RFE0275)


白

  - SC-MC20-K / SC-MC20-R (品番 RFE0273)

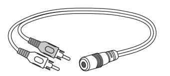

黒

- □ ACアダプター:2個 (品番 VSK0771)



- □ 音声接続コード:1 本 (品番 RFE0277)

- □ 変換コード:1 本 (品番 RFE0276)



- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ACアダプター(付属)とDC ケーブル(付属)は本機専用です。他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。

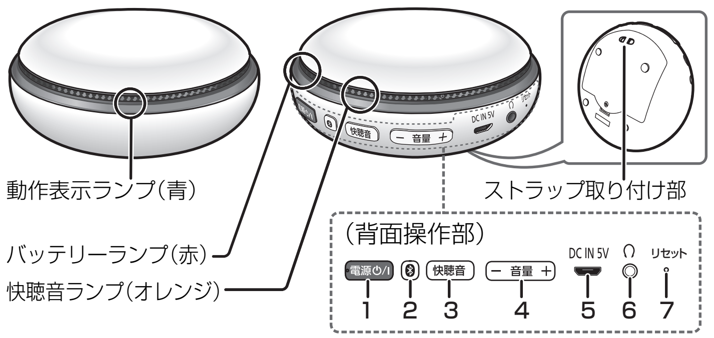
CLUB Panasonic Pana Sense

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

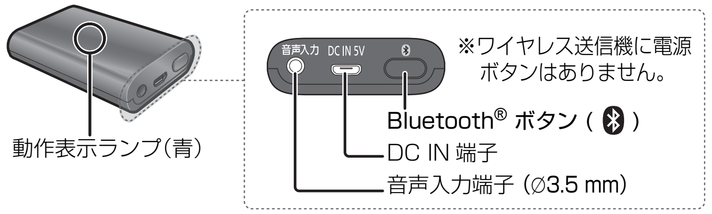
各部の名前

ワイヤレススピーカー



1 電源ボタン (電源 ⏻/I)
2 Bluetooth® ボタン (✱)
3 快聴音ボタン
4 音量ボタン
5 DC IN 端子
6 ヘッドホン端子 (🎧): ステレオミニジャック (⌀3.5 mm)
7 リセットスイッチ
- 電源を切れないなど、本機が正常に動作しないときに、伸ばしたクリップなどを差し込んで押してください。

ワイヤレス送信機



※ワイヤレス送信機に電源ボタンはありません。

動作表示ランプ(青)について (ワイヤレススピーカー・送信機共通)

- ゆっくり点滅 (約 2 秒間隔) : 接続待機中
- 速く点滅 (約 0.5 秒間隔) : 登録待機中
- 点灯 : 接続完了

本機を使う

テレビにワイヤレス送信機をつなぐと、テレビの音声をお手元のワイヤレススピーカーでお楽しみいただけます。
- テレビの仕様については、テレビの説明書などもお読みください。

お使いいただくには、次の手順を行ってください。

① ワイヤレス送信機を設置する

▼

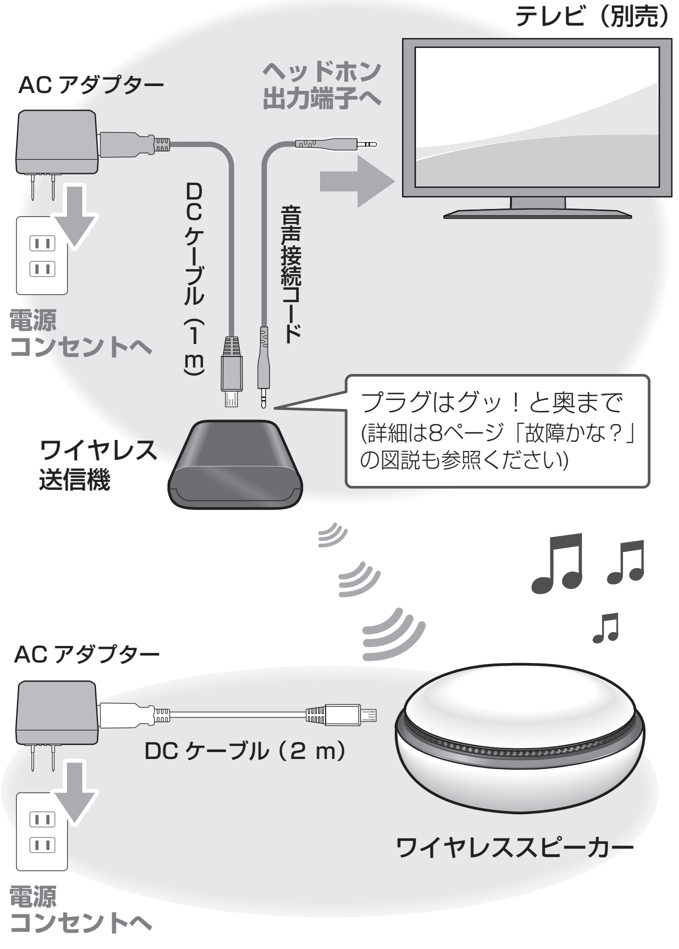
② ワイヤレススピーカーを設置する

▼

③ ワイヤレススピーカーで音声を聴く

接続完成図

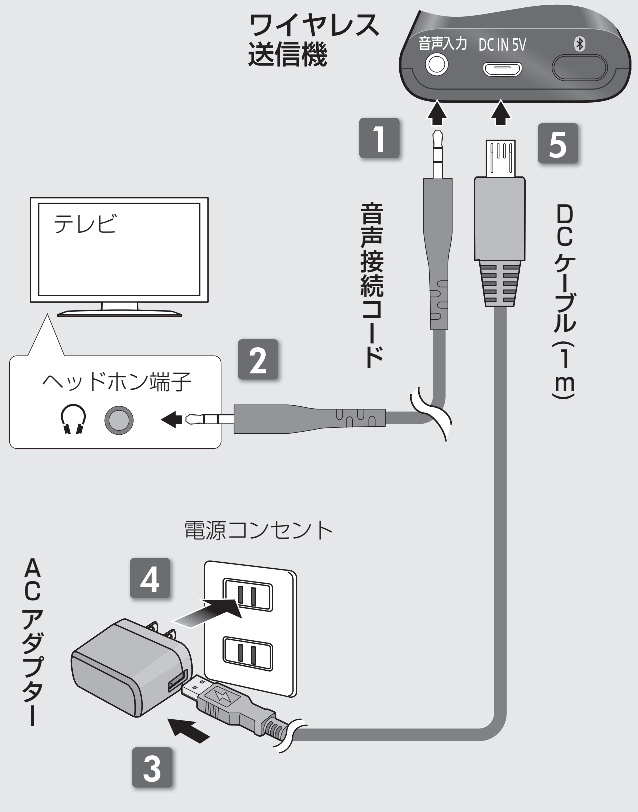
※ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の間に障害物を置かないでください。



① ワイヤレス送信機を設置する

準備する付属品
AC アダプター（1 個）、DC ケーブル（1 m）、音声接続コード

以下の図に従って、順番に接続してください。

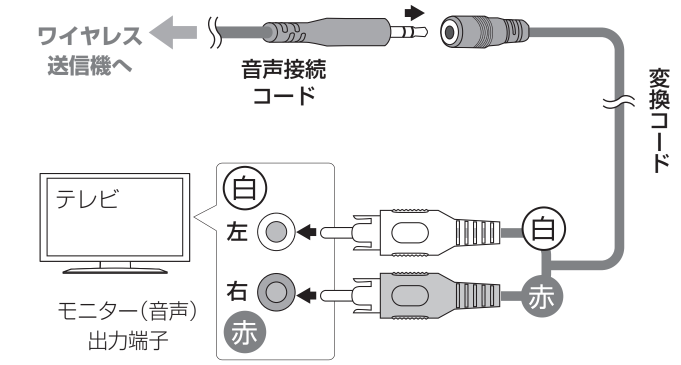


手順 5 でワイヤレス送信機の電源が入り、動作表示ランプ(青)が点滅します。送信機に電源ボタンはありません。
そのあと、テレビの電源を入れてください。
・テレビのスピーカーから音声が出なくなります。

・テレビのヘッドホン端子に接続時、テレビのスピーカーとヘッドホン端子の両方から音声が出るように設定できるテレビもあります。
・付属の AC アダプター、DC ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

テレビからも音声を出すには

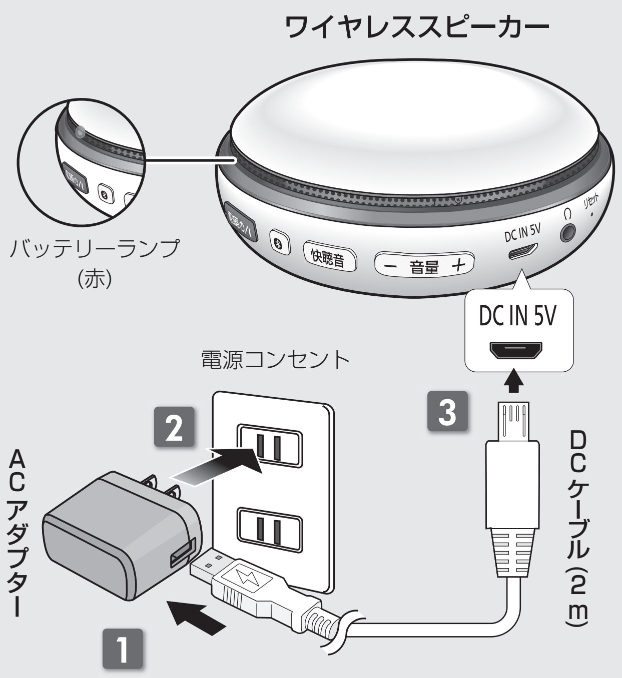
- テレビにモニター(音声)出力端子があるときは、手順 2 で変換コード(付属)を使って接続してください。
- 出力端子の形状によっては、音声接続コードだけで接続できるテレビもあります。



② ワイヤレススピーカー を設置する

準備する付属品
AC アダプター（1 個）、DC ケーブル（2 m）

以下の図に従って、順番に接続してください。



・付属の AC アダプター、DC ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

充電式電池(内蔵)で使うには

お買い上げ時は、充電してからお使いください。

ワイヤレススピーカーに AC アダプター(付属)を接続すると、バッテリーランプ(赤)が点灯し、充電が始まります。

充電時間	約8 時間 *

* 電池を使い切った状態で、電源「切」で充電時 (周囲温度 25 ℃)
* 電源が入っている状態でも充電はできますが、充電に時間がかかる場合があります。

バッテリーランプ(赤)について (ワイヤレススピーカーのみ)

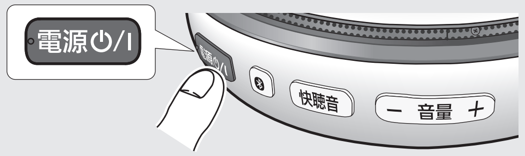
○ 点灯：	充電中	
● 消灯：	充電完了	
速く点滅（約 0.5 秒間隔）：	充電エラー	→8ページ「充電時にバッテリーランプ（赤）が点滅する」を参照

充電後、AC アダプターを取り外すと充電式電池で使用できます。動作中に電池残量が少なくなると、バッテリーランプ(赤)が点滅します。

お知らせ
- 満充電でなくても電池残量が十分な場合は、充電が始まらない場合があります。
- 長期間使用しない場合は、充電式電池が劣化するおそれがありますので、6 カ月に 1 度は充電してください。
- 内蔵のリチウムイオン充電式電池は、製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。(裏面 13 ページ「製品を廃棄する」を参照)

③ ワイヤレススピーカーで 音声を聴く

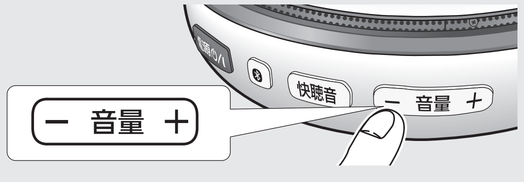
電源ボタンを押す



電源を入れると電子音が「ピッ」と鳴ります。
正面側の動作表示ランプ（青）が点滅し始めます。

・ワイヤレス送信機と無線で接続されると点灯に変わります。
・ワイヤレススピーカーの動作表示ランプが点灯に変わらない場合、7ページ「元に戻すには(ワイヤレス送信機と再接続する)」を行ってください。

音量を調節する

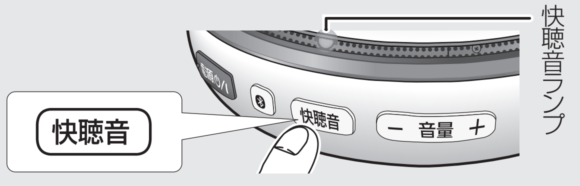


音量が最大または最小になると、電子音が「ピピッ」と鳴ります。

お好みの音量にならないときは、テレビ側の音量も調節してください。
・テレビのモニター(音声)出力端子に接続しているときは、テレビの音量出力は一定ですので、ワイヤレススピーカー側で調節してください。

快聴音を設定する（快聴音ボタン）

・人の音声帯域を強調し、ドラマや映画のセリフが聴き取りやすくなります。（スピーカー出力時のみ）



オンにすると、快聴音ランプ（オレンジ）が点灯します。
※お買い上げ時の設定は、オンになっています。

解除するには：もう一度ボタンを押す(ランプが消灯)
・ヘッドホン接続中は、快聴音は自動でオフになります。オンにできません。
・聴き取りやすさには個人差があります。

電源を切る

電源ボタンを押してください。
電子音が「ピーー」と鳴ります。(動作表示ランプ (青) は消灯)
・ワイヤレススピーカーは、送信機からの音声入力がなく、ボタン操作がない状態が約 10 分間続くと、電源が切れます。(オートオフ機能)

お知らせ
- ワイヤレススピーカーの正面側にスピーカーは搭載されています。音声を聴くときは、正面を向け、平らで安定した場所に設置してください。
- ワイヤレススピーカーは防磁設計ではありません。近くに時計や磁気カード(クレジットカード)を近づけないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音声がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。(音量を下げないと、スピーカーの破損の原因になることがあります)
- ワイヤレススピーカーから聴こえる音声は、テレビの音声よりも少し遅れて聴こえます。
- 他機器からのノイズの影響により、オートオフ機能が働かない場合があります。
- 安全のため、過大な入力信号があった場合、システムを自動的に止め、電源「切」状態になる場合があります。

他機器と接続するには

本機は Bluetooth®(ブルートゥース)技術を使用していますので、Bluetooth® に対応したスピーカーやスマートフォンなどを受信機や送信機として登録し、お使いいただくこともできます。
- ワイヤレススピーカーに他の Bluetooth® 機器を登録すると、本機のワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の間の接続が解除されます。再度使用するには再登録してください。
- Bluetooth® 機器に付属されている説明書などもお読みください。

ワイヤレススピーカーに他の Bluetooth® 送信機器を登録して音声を聴く

本機のワイヤレス送信機から DC ケーブルを外し、電源を切っておいてください。

1. **ワイヤレススピーカーの [電源 ⏻/I] を押して、電源を入れる**
2. **ワイヤレススピーカーの [Bluetooth] ボタンを 5 秒以上押す**
   動作表示ランプ (青) が速く点滅し、登録待機状態になります。
3. **送信機器側で Bluetooth® の登録画面などを表示し、機器名 (SC-MC20)を選んで登録する**
   送信機器によっては登録後、自動的に接続されます。そのときは手順5を行ってください。
   パスキーの入力を要求された場合は、ワイヤレススピーカーのパスキー「0000」(ゼロ４つ)を入力してください。
4. **送信機器側で Bluetooth® の接続画面などを表示し、機器名 (SC-MC20)を選んで接続する**
   接続されると動作表示ランプ (青) が点灯します。
5. **送信機器側で再生を始める**

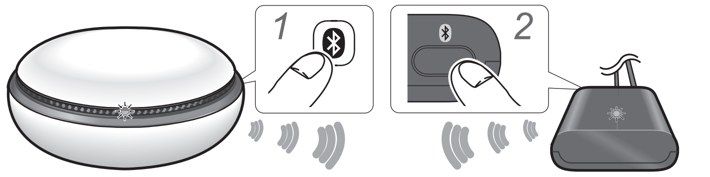
接続を解除するには
– 送信機器側で Bluetooth® 送信を中止する。
– ワイヤレススピーカーまたは Bluetooth® 送信機器の電源を切る。

登録済みの機器の音声を聴くには
ワイヤレススピーカーの電源を入れると動作表示ランプ (青) がゆっくり点滅し、接続待機状態になります。そのあと手順4、5を行ってください。
- ワイヤレススピーカーの電源を入れると、ワイヤレススピーカーは最後に接続していた Bluetooth® 送信機器と接続しようとします。自動的に接続されたときは手順 5 を行ってください。

元に戻すには(ワイヤレス送信機と再接続する)

ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機(同梱)を登録からやり直します。

1. **電源を入れたワイヤレススピーカーの [Bluetooth] ボタンを 5 秒以上押す**
2. **AC アダプターに接続したワイヤレス送信機の [Bluetooth] ボタンを５秒以上押す**



両方の動作表示ランプ(青)が速く点滅し、登録待機状態になります。接続されると、それぞれの動作表示ランプが点灯に変わります。

ワイヤレス送信機に他の Bluetooth® 受信機器を登録して音声を聴く

1. **受信機器側で Bluetooth® 登録待機状態にする**
2. **AC アダプターに接続したワイヤレス送信機の [Bluetooth] ボタンを５秒以上押す**
   動作表示ランプ (青) が速く点滅し、登録待機状態になります。接続されると動作表示ランプが点灯します。

接続を解除するには
ワイヤレス送信機または Bluetooth® 受信機器の電源を切る。

登録済みの機器の音声を聴くには
ワイヤレス送信機の電源が入った状態で、登録済みの Bluetooth® 受信機器から接続要求があると、接続します。動作表示ランプ (青) が点滅から点灯に変わらない場合は、再度手順 1、2 を行ってください。

お知らせ
- ワイヤレススピーカーおよびワイヤレス送信機に接続できる Bluetooth® 機器の台数は、それぞれ 1 台です。
- ワイヤレススピーカーに登録できるBluetooth®機器は最大4台です。(お買い上げ時はワイヤレススピーカーにワイヤレス送信機が登録されています)
  4 台(登録可能台数)以内であっても、ワイヤレススピーカーに他の Bluetooth® 機器を登録すると、ワイヤレス送信機と接続できなくなります。その場合は、本機の登録をやり直してください。(上記「元に戻すには(ワイヤレス送信機と再接続する)」を参照)

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

音が途切れる / 音が割れる / 雑音が多い

- 電子レンジ使用時は音が途切れることがあります。
- 以下の機器を同時に使用すると、通信が途切れる場合があります。
  ・デジタルコードレス電話、その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器(パソコン、ワイヤレスのキーボードやマウス、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機)など。それらから、本機と Bluetooth® 機器を離してお使いください。
- ワイヤレススピーカーやワイヤレス送信機を手のひらで覆ったりしていませんか。通信が遮断されて、音が途切れることがあります。
- Bluetooth® 通信使用可能距離(約 10 m)を超えていませんか。
  ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機を近づけてください。
- ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 使用していない無線LAN機器の電源を切ってください。または無線LAN機器の近くで使用しないでください。
- ワイヤレススピーカーのバッテリーランプ(赤)が点滅していませんか。充電式電池が消耗すると通信状態が悪くなることがありますので、AC アダプターで充電してください。
- ワイヤレス送信機に接続した機器によっては、音割れや雑音が発生することがあります。機器側の音量を下げてください。
- 接続するテレビによっては、ヘッドホン出力レベルの高いものがあります。本機への入力レベルが高くなりすぎて、音割れや雑音が発生することがあります。そのときは、テレビの音量を下げてお使いください。
- 本機を長時間連続して使用していると、実際のテレビの音声に対してワイヤレススピーカーの音声が遅れて聴こえることがあります。ワイヤレススピーカーの電源を一度切ったあと、再度入れ直してください。

音が出ない / 音が小さい

- 音声接続コードのプラグを、奥までしっかりと差し込んでください。

- テレビ側でも音量を調整してください。
- テレビにシアターシステムを接続していると、テレビからの音声がワイヤレス送信機に出力されないことがあります。シアターシステムの電源を切ってみてください。

ワイヤレススピーカーが正常に動作しない

- ワイヤレススピーカーのリセットスイッチを押してください。Bluetooth® の登録情報は消去されません。(2ページ「各部の名前」を参照)

充電時にバッテリーランプ(赤)が点滅する

- ワイヤレススピーカーの周囲の温度が 10 °C から 35 °C(推奨温度環境)のところで充電してください。推奨温度環境の範囲外では、バッテリーランプ(赤)が点滅して充電できない場合があります。
  ・推奨温度環境の範囲内でも、動作中または動作終了直後に電池の温度上昇が検知され、充電されない場合があります。その場合は使用を中止してワイヤレススピーカーを冷ましてください。

ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機が無線接続されない

- ワイヤレススピーカーやワイヤレス送信機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。それでも接続されないときは、ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の登録をやり直してください。(7ページ「元に戻すには(ワイヤレス送信機と再接続する)」を参照)

他の Bluetooth® 機器と無線接続されない

- 他の Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。(7ページ「他機器と接続するには」を参照)
- Bluetooth®機器のBluetooth®メニューなどから本機の登録情報をいったん消去し、機器の登録をやり直してみてください。(7ページ「他機器と接続するには」を参照)

Bluetooth®使用上のお願い

■ **使用周波数帯**

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ **周波数表示の見方**

周波数表示は、定格銘板に記載しています。

2.4FH1

※1

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するFH-SS変調方式を採用した無線設備で、電波与干渉距離が約 10 m 以下であることを意味します。

※ 1 2.402 GHz ～ 2.480 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:パナソニック株式会社
パナソニック　お客様ご相談センター
(14 ページ「保証とアフターサービス」を参照)

■ **機器認定**

- 本機は、電気通信事業法の認証を受けたモジュールを搭載しています。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・分解 / 改造する
  - ・定格銘板を消す / はがす

■ **使用制限**

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ **使用可能距離**

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ **他機器からの影響**

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  - ・電子レンジ
  - ・デジタルコードレス電話機
  - ・その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く
    (ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)
  - ・電波が反射しやすい金属物などの近く
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■ **用途制限**

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例: 原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

仕様

ワイヤレススピーカー：SC-MC20

実用最大出力 (両 CH 動作)	2 W (1 W + 1 W) 8 Ω、1 kHz, 全高調波ひずみ率 1.5 %
スピーカー	フルレンジ: 3.6 cm × 2 コーン型 (バスレフ型)
ヘッドホン出力	ステレオ ⌀ 3.5 mm ジャック 適用インピーダンス　32 ～ 64 Ω
電源入力	USB マイクロ タイプ B　DC 5 V
電源スタンバイ時の消費電力	約 0.3 W
寸法(幅×高さ×奥行き)	104 mm× 45 mm× 104 mm
質量	約191 g

ワイヤレス送信機：RFE0270

外部入力	ステレオ ⌀ 3.5 mm ジャック
電源入力	USB マイクロ タイプ B　DC 5 V
電源スタンバイ時の消費電力	約 0.3 W
定格消費電力	約 0.4 W
寸法(幅×高さ×奥行き)	44 mm × 69 mm × 16 mm
質量	約25 g

Bluetooth® 部

バージョン	Ver. 3.0
送信出力	Class 2 (2.5 mW)
対応プロファイル	A2DP (受信 :SCMS-T 対応)
対応コーデック	SBC ／ Ultra low Delay Solution
通信方式	2402 ～ 2480 MHz (AFH-SS:適応型周波数ホッピングスペクトラム拡散方式)
見通し通信距離	約 10 m (付属ワイヤレス送信機、高さ 1 m の条件で測定)
電波与干渉距離	10 m 以下

電池性能

充電

充電時間	約 8 時間 *1
充電回数	約 500 回

*1 周囲温度 25 °C / 電池を使い切った状態で、電源「切」状態で充電時

再生

連続再生持続時間 **出力 10 mW (5 mW + 5 mW)**	約 10 時間 *2

*2 音声出力 5 mW+5 mW により測定(Bluetooth® 接続して、周囲の温度が 25 °C で使用した場合)

総合

電源

内蔵電池		DC 3.7 V　(1400 mAh) 5.2 Wh Li-ion 電池
AC アダプター (VSK0771)	**入力**	AC100 V～240 V、50/60 Hz、0.2 A、10 VA (100 V)、13 VA (240 V)
	出力	DC 5 V、800 mA

許容動作温度	0 ℃～40 ℃
許容動作湿度	20 % ～ 80 % RH (結露なきこと)
充電時許容動作温度	10 ℃～35 ℃
充電時許容動作湿度	20 % ～ 80 % RH (結露なきこと)

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **危険**	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)**

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠警告

電源プラグを抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、AC アダプターを抜く
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

本機は充電式電池を内蔵しています
- 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない
- 電子レンジで加熱しない
- 分解・改造しない (製品廃棄時を除く)

発熱・発火・破裂の原因になります。

電源プラグや AC アダプターの端子部分を破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
- 電源プラグやACアダプターの端子部分の修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

接触禁止

雷が鳴ったら、本機や AC アダプター、電源プラグに触れない
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

分解禁止

分解、改造をしない
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

航空機内で使用しない
本機からの電波が運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機を使用しない
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠警告

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、ヘッドホンを使わない
事故の原因になります。
- 踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げ過ぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠注意

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない
本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になることがあります。
※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

AC アダプターを接続した状態で移動しない
接続した状態で移動させようとすると、AC アダプターが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない
高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない。
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

放熱を妨げない
内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない
特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機や AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
- スピーカーは防磁設計ではありません。

指定の AC アダプターを使う
指定外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる
音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

ーこのマークがある場合はー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

次の内容は、製品廃棄時(充電式電池取り出し時)に関する安全上のご注意です。製品を廃棄するとき以外は絶対に本機を分解しないでください。

⚠危険

本機専用の充電式電池です
この機器以外に使用しない

取り出した充電式電池は充電しないでください。
- **火への投入、加熱をしない**
- **くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない**
- **⊕と⊖を金属などで接触させない**
- **外装シールを破ったり、はがさない**
- **ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない**
- **電子レンジやオーブンなどで加熱しない**
- **火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない**
- **水中への投入をしない**

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
●液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

製品を廃棄する

本機を廃棄するときは、内蔵している電池を取り出して電池のリサイクルにご協力ください。

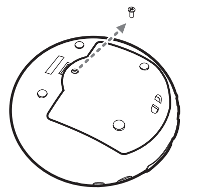
■ ワイヤレススピーカーの電池の取り出し方

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
●この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。

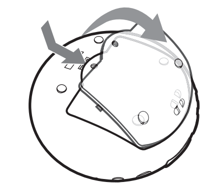
●電池を使いきってから分解してください。
●上手に取り出せない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(15 ページを参照)へお問い合わせください。

SC-MC20 の分解手順

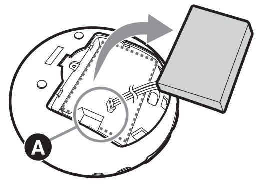
1 底面のねじ(1 個)を外す
- ねじを外すときは、市販のドライバー(+、サイズ :No.1)をお使いください。



2 底面のふたを開ける
- マイナスドライバーのようなものを溝に引っ掛けて力を加えると外れやすくなります。



3 電池を取り出す
- 両面テープで貼り付けてあります。
- コネクターを抜いてコードを外してください。(Ⓐ)



本機の使用電池
名称:リチウムイオン(Li-ion)充電式電池
公称電圧: DC 3.7 V

充電式
リチウムイオン
Li-ion00 電池使用

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先
- 最寄りのリサイクル協力店へ
- 詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理 などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(　　)　　ー
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは
「故障かな?」でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。
ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機を一緒に修理にご依頼ください。

●製品名	ポータブルワイヤレススピーカーシステム
●品　番	SC-MC20
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間:お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。
技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用
※補修用性能部品の保有期間 6年
当社は、このポータブルワイヤレススピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時〜20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365 (パナは 365日)
携帯・PHS OK ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187　■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan　Tokyo (03) 3256-5444　Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 0120-878-554 (パナは イイヨ)
携帯・PHS OK ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。
- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話	所在地
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青 森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山 梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0513

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

使用上のお願い

本機を落としたり、ぶつけたりしないでください。また本機に強い圧力をかけないでください。
●強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れ、故障や誤動作の原因になります。

■ お手入れ

本機の電源を切ってから、乾いた柔らかい布でふいてください。AC アダプターをご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ふいてください。
●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、オイル、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので、使用しないでください。

■ AC アダプターについて

●電源が切れた状態でも、電力を消費しています。長時間使用しないときは、節電のため接続した AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜くことをお勧めします。
●DC IN 端子部に汚れがある場合は、AC アダプターを接続する前に綿棒などでふき取ってください。

愛情点検　**長年ご使用のポータブルワイヤレススピーカーシステムの点検を!**

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をしてください
PC http://club.panasonic.jp/　携帯
※このサービスはWEB限定のサービスです。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
　(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
　(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　(ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
　(ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
　(ト) 本書のご添付がない場合
　(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　(リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.